

## 柔道整復科 カリキュラムマップ

分野	教育内容	単位	授業科目	単位	1学年	2学年	3学年	計	◎：直結する ○：関連する									
									A1	A2	B1	B2	B3	C1	C2	C3		
基礎	科学的思考の基盤・人間と生活	14	情報科学	2	34			34									◎	
			英語	1	17			17										◎
			生物学	1	17			17	◎									
			心理学	1	17			17							◎			
			教養学	1	17			17										◎
			スポーツ栄養学	2		34		34								◎		
			カウンセリング基礎	2	34			34							◎			
			エクササイズ実習	1	34			34					○	◎				
療法学	4			68	68				◎	○								
専門基礎	人体の構造と機能	15	解剖学Ⅰ	4	68			68	◎	○								
			解剖学Ⅱ	4	68			68	◎	○								
			解剖学Ⅲ	2		34		34	◎	○								
			生理学Ⅰ	4	68			68	◎	○								
			生理学Ⅱ	4	68			68	◎	○								
			生理学Ⅲ	2		34		34	◎	○								
			運動学	2		34		34	◎	○								
	疾病と障害	11	病理学概論Ⅰ	2		34		34	○	◎								
			病理学概論Ⅱ	2		34		34	○	◎								
			一般臨床医学	4		68		68	○	◎								
			整形外科	4		68		68	○	◎								
			外科学概論	4		68		68	○	◎								
			リハビリテーション医学	4		68		68	○	◎								
			公衆衛生学・衛生学	2		34		34	○	◎								
柔道整復術の適応	2	柔整ID	2		34		34	○	○	◎	○							
保健医療福祉と柔道整復の理念	8	柔整倫理（医学史含む）	1	17			17										◎	
		社会体育Ⅰ（柔道）	2	68			68							◎				
		社会体育Ⅱ（柔道）	2		68		68							◎				
		社会体育Ⅲ（柔道）	2		68		68							◎				
		関係法規	2		34		34									◎		
社会保障制度	1	社会保障制度	1	17			17									◎		
基礎柔道整復学	10	基礎柔道整復学Ⅰ	2	34			34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅱ	2	34			34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅲ	2	34			34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅳ	2		34		34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅴ	2		34		34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅵ	2		34		34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅶ	2		34		34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅷ	2		34		34			◎	○							
		基礎柔道整復学Ⅸ	2		34		34			◎	○							
臨床柔道整復学	17	臨床柔道整復学ⅠA	2	34			34			◎	○							
		臨床柔道整復学ⅠB	4		68		68			◎	○							
		臨床柔道整復学ⅠC	2	34			34			◎	○							
		臨床柔道整復学ⅡA	4		68		68			◎	○							
		臨床柔道整復学ⅡB	2		34		34			◎	○							
		臨床柔道整復学ⅢA	4		68		68			◎	○							
		臨床柔道整復学ⅢB	2		34		34			◎	○							
		臨床柔道整復学Ⅳ	2	34			34			◎	○							
柔道整復実技	17	基礎実技Ⅰ	2	68			68			◎	○							
		基礎実技Ⅱ	1		34		34			◎	○							
		基礎実技Ⅲ	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅠA	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅠB	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅠC	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅡA	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅡB	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅡC	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅢA	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅢB	1		34		34			◎	○							
		柔整実技ⅢC	1		34		34			◎	○							
		形態機能学実習	2	68			68	◎										
臨床実習	4	臨床実習Ⅰ	1	45			45	○	○	○	○		◎	◎	◎			
		臨床実習Ⅱ	1	45			45	○	○	○	○		◎	◎	◎			
		臨床実習Ⅲ	2		90		90	○	○	○	○		◎	◎	◎			
合計		99		132	974	974	816	2764										

## 【A知識】

- ① 基礎知識と専門的知識を修得し、患者様の症状に応じた適切な判断をすることができる。
- ② 様々な知識を基に適切な治療法を選択し、最善の治療を提供することができる。

## 【B技能】

- ① 触察、徒手検査、エコー技術を修得し、適切な柔道整復術を安全に施術することができる。
- ② 医療人として患者様と良好なコミュニケーションがとれ、信頼される施術ができる。
- ③ NSCAパーソナルトレーニングの技術を修得し、医療はもとより、予防や介護の現場において、その技術を生かすことができる。

## 【C態度】

- ① 医療人として人々を思いやる心を持ち、柔道整復分野に常に誇りと責任を持って社会に貢献する姿勢を備えている。
- ② 患者様の健康と安全を最優先に考え、患者様との信頼関係を構築する能力を有している。